

**製品名: Meis1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13791**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MEIS1
別名	MEIS1; Homeobox protein Meis1
遺伝子 ID	4211.0
SwissProt ID	O00470
免疫原	抗血清はヒト Meis1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 229-278

**背景**

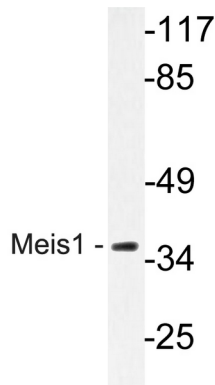
ホメオボックス遺伝子は、最もよく特徴づけられているカテゴリーである HOX 遺伝子に代表され、正常な発達において重要な役割を果たします。さらに、いくつかのホメオタンパク質が腫瘍形成に関与しています。この遺伝子は、ホメオドメイン含有タンパク質の

TALE (「3 アミノ酸ループ拡張」) ファミリーに属するホメオボックスタンパク質をコードしています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: PAX6 の転写調節因子として機能します。PBX1 または PBX2 と複合体を形成し、PF4 の転写活性化因子として機能します。造血、巨核球系譜の発達、および血管パターン形成に必要です。骨髄性白血病の誘発において、HOXA7 および HOXA9 の補因子として機能する可能性があります。類似性: TALE/MEIS ホメオボックスファミリーに属します。類似性: 1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。サブユニット: PBX1 の N 末端領域と相互作用して、CYP17 の cAMP 応答配列を含む DNA に結合するヘテロダイマーを形成します。また、PBX2 とヘテロダイマーを形成します。PBX1 または PBX2、および HOXA9、HOXD4、HOXD9 などの多くの HOX タンパク質とヘテロトリマーを形成し、非 DNA 結合パートナーとして機能します。また、PBX1 および HOXD9 および HOXD10 を含む HOX タンパク質とヘテロ三量体を形成し、PBX1 は DNA 非結合パートナーとなる。組織特異性: 胎児肝臓を含む正常な免疫肝細胞組織では低レベルで発現する。骨髄性白血病細胞株のサブセットでも発現し、特に巨核球性赤血球系表現型の細胞株で最も高い発現が認められる。また、小脳でも高レベルで発現する。、

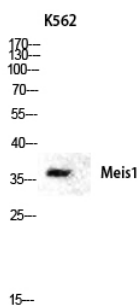
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; 発生ファミリー; HOX; 幹細胞; 造血前駆細胞; 骨髄系; 骨髄前駆細胞

## 画像データ



Meis1 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



Meis1 抗体を用いた K562 の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。